



新型コロナウイルス情報

問い合わせ

草加市新型コロナワクチンコールセンター
☎0570-666-578

☎☎を含む午前8時30分～午後5時15分

NEW

4回目のワクチン接種が始まります



接種対象者

**60歳以上の人、
18～59歳で基礎疾患のある人**

※基礎疾患の詳細は市ホームページで確認を。

接種間隔

3回目接種から**5か月**以上経ったら

★今回は青枠の封筒

■接種券発送 6月1日(水)から順次発送
(1月末までに3回目を接種した60歳以上の人)

■ワクチンの種類 ファイザー社製またはモデルナ社製

■接種会場 ・個別接種会場(市内医療機関)
・集団接種会場(6月は草加市文化会館)

■予約開始 接種券が届いたら予約ができます



▲草加市HP

18～59歳で基礎疾患のある人で4回目接種を希望する人へ
接種券の発行には申請が必要です。申請方法は市ホームページまたは
広報そうか6月5日号でお知らせします。

☎新型コロナウイルス対策課☎922-1839☎927-0501

6月の集団接種は草加市文化会館のみ

●集団接種は、草加市文化会館と勤労福祉会館で実施していますが、6月は「草加市文化会館」での毎週☎☎☎の実施のみとなります。

※7月以降の集団接種会場は調整中です。

●集団接種会場での小児接種の実施は5月で終了します(2回目接種の6月7・9日は実施)。医療機関での接種をお願いします。

都合が悪くなったら予約のキャンセルを

キャンセルされない場合、準備をしたワクチンが無駄になる可能性があります。事前のキャンセルに協力をお願いします。

県東部ワクチン接種センター(越谷市)

夜間の3回目接種を実施しています。学校や仕事帰りにも便利です。

会場:南越谷ラクーン6階
(新越谷駅から徒歩3分)

実施日:☎、☎～☎

時間:午前10時30分～午後7時
(☎は午後9時まで)



草加の四季観光 写真コンクール作品募集

☎草加市観光協会事務局(文化観光課内)
☎922-2403☎922-3406



草加の四季の魅力を写した自慢の作品を応募してみませんか。

- 対象 令和3年9月30日以降に撮影した未発表の自作品
- テーマ 草加の四季折々の自然景観、祭り、郷土芸能、文化財、風物、各種イベント等を撮影した草加の観光宣伝に役立つ写真
- サイズ カラープリント四つ切り、ワイド四つ切りを超えないもの、A4(家庭用プリンタでの印刷も可)

賞	
観光協会会長賞	1点 賞金3万円
草加松原賞	1点 賞金1万円
そうか桜(しだれ桜)賞	1点 賞金1万円
特選	2点 賞金1万円
佳作	6点 賞金5千円
東武よみうり新聞社賞	1点 トロフィー
フォトライフサポートセンター賞	1点 盾

■審査 草加市観光協会会員
☎6月1日(水)～9月30日(金)(消印有効)に作品裏面に草加市観光協会事務局で配布する応募票(市ホームページから入手可)を貼り付け、〒340-8550事務局へ。

SOKA CREATIVE MEETING 2022 経営者向け講演会 人を動かす「経営者」

☎産業振興課☎922-3477☎922-3406



紆余曲折を経て、経営を改善してきた2社の講演会。これからの経営を考えていくヒントが満載。

- 日時 6月29日(水)午後6時～8時30分
- 会場 草加宿今様本陣(神明1-6-18)
- 対象 市内事業所の経営者
- 定員 30人
- 講演者

(有)中里スプリング製作所
代表取締役社長 中里良一氏
(株)大川印刷 代表取締役社長 大川哲郎氏

■進行役 (株)野村総合研究所
プリンシパル坂口剛氏
☎6月22日(水)までに専用フォーム(QRコード)で。



中里良一氏



大川哲郎氏



できごとまちかど 4月



中央図書館 「文部科学大臣表彰」受賞

23日、中央図書館が「令和4年度子供の読書活動優秀実践図書館」として文部科学大臣表彰を受けました。これは、学校、市民ボランティア等と連携した子ども読書活動が高く評価されたものです。

こどもの読書週間に合わせたイベントも♪

同館では同週間に合わせ、様々なイベントを実施。年齢別のおすすめ絵本3冊が入った「お楽しみ袋」は大好評で予定数を増やし215セット配布。5月5日の「かみしばいおはなし会」では子どもの日にちなんだ話など6作をボランティアが上演。参加した親子からは「これをきっかけにお話し好きになってほしい。また来たい」との声が寄せられました。



地域コミュニティの場 「新里地域ふれあい広場」オープン



旧谷塚西公民館跡地が、地元の要望が多かった地域コミュニティの場に生まれ変わりました。4月上旬利用開始。市民主体のまちづくりを支援するため、市が広場を設置し、日常の管理・運営(清掃や軽微な修繕)を新里町会が行う「地域ふれあい広場」は市内初の取り組み。鈴木眞治新里町会会長は「この広場が地域住民の新たな交流の拠点となるよう、住民同士話し合いながら、末永く大切にしていきたい」と語りました。

広報そうか アンケート

広報そうか5月20日号のご意見をお聞かせください!
今後の広報発行物作成の参考とさせていただきます。

